

## 皇居のヤドリバエ科（追加および訂正）<sup>1)</sup>

島 洪<sup>2)</sup>

Hiroshi Shima<sup>2)</sup>: Tachinidae (Insecta, Diptera) of the Imperial Palace, Tokyo  
(Addenda and Corregenda)

### 緒 言

皇居のヤドリバエ科については、1996年から2000年の調査による88種を報告した（島、2000）。皇居の昆虫相については、その後2005年まで継続的に調査が行われ、ヤドリバエ科について多くの資料が蓄積されている。今回、これらとともに前回の報告では扱うことができなかった材料を検する機会を得た。その結果としてここに95種のヤドリバエ科を報告する。このなかには前回の報告に含まれていなかった種が31種あり、さらに東京からはじめて記録される種が17種にのぼる。これにより皇居のヤドリバエ科は119種が知られることになり、東京都区内からは128種となる。また、前回の報告にはいくつかの誤同定が判明したので、その訂正も行った。

#### 凡例

1. 記録の配列は亜科ごとに族をならべ、その中の種をアルファベット順に配置している。亜科および族の配列は、一部を除き Herting (1983) によった。
2. 記録は種ごとに頭数、雌雄、採集年月日、採集者名の順に記している。採集者名は篠永哲氏の場合は標本の大部分を占めるので省略し、それ以外の各氏については次のように略記した。KK: 小西和彦、MI: 池田、MO: 大和田守、TN: 南部敏明、YM: 有田豊。なおMTはマレーゼトラップによって得られたことを示す。
3. 島 (2000) に記録されなかった種には、種名の前に\*を、東京都区内からはじめて記録される種には\*\*をつけた。
4. 寄主についての記述は Shima (1999) による。

### 採 集 記 錄

Exoristinae ヤドリバエ亜科  
Exoristini

1. *Bessa parallela* (Meigen) ムラタヒゲナガハリバエ  
1♀, 18. iv. 2002, TN; 2♀, 18. iv. 2003; 4♀, 14. v. 2001, TN; 13♂4♀, 2. vi. 2003; 1♀, 13. vi. 2005; 1♀, 17. vii. 2001; 1♀, 12. viii. 2003; 1♀, 16. x. 2002.
2. *Chaetexorista atripalpis* Shima  
1♀, 12. ix.-7. x. 1997, TN (MT); 1♂1♀, 24. ix. 2003; 2♀, 25. ix. 2002; 2♀, 18. x. 2004; 2♀, 13. xi.

<sup>1)</sup> Contribution from the Biosystematics Laboratory, Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University, Fukuoka (No. 103).

<sup>2)</sup> 九州大学大学院比較社会文化研究院 福岡市中央区六本松 4-2-1  
Biosystematics Laboratory, Faculty of Social and Cultural Studies, Kyushu University, Fukuoka, 810-8560 Japan  
E-mail: shimarcb@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

2003.

3. \**Chaetexorista* sp. 1 (*eutachinoides* Auct.) イラムシヤドリバエ  
 1♂, 24. ix. 2003, TN; 1♂, 25. ix. 2003; 1♀, 24. x. 2005.  
 分布: 本州, 九州.  
 イラガの寄生者で、従来 *C. eutachinoides* あるいは *C. javana* として扱われていた (e.g. Mesnil & Pshcorn-Walcher, 1968). この属については現在整理中である.
4. \*\**Chaetexorista* sp. 2  
 1♀, 24. ix. 2003.  
 本種はこれまで本州から記録されたことはない. 九州から記載された *C. discalis* Shima に似るが、♀のみしか得られていないので、種名は確定できなかった.
5. *Exorista cantans* Mesnil  
 2♂, 17. vii. 2001; 1♀, 26. viii. 2004; 1♂, 24. x. 2005.
6. *Exorista japonica* (Townsend) ブランコヤドリバエ (図 1)  
 1♀, 30. iv. 2002, TN; 1♂1♀, 8. v. 2003; 4♂1♀, 17. v. 2004; 3♂, 2. vi. 2003; 1♂, 17. vi. 2004; 1♂, 9. vii. 2002; 1♂, 13. vii. 2005; 3♂, 21. vii. 2005; 1♀, 22. vii. 1999, AS; 1♀, 2. viii. 2004; 2♂, 25. viii. 2003; 2♀, 2. ix. 2003, MT; 1♂, 8. ix. 2004; 1♂, 9. ix. 2004; 1♂, 13. ix. 2005, TN; 1♀, 16. ix. 2003, MT; 1♂, 2♀, 16. ix. 2005; 4♂, 19. ix. 2000, TN; 1♂, 25. ix. 2002; 1♂, 8. x. 2002; 1♂, 18. x. 2004; 1♂, 20. x. 2003, TN; 3♂1♀, 23. x. 2002, TN; 1♂2♀, 24. x. 2005.
7. \**Exorista larvarum* (Linnaeus)  
 1♂, 6. vii. 2004, TN.  
 分布: 北海道, 本州; 旧北区.  
 前種によく似るが、♂交尾器の形態は全く異なる. 一般に前種より冷涼な地域に生息する. 関東地方の平地では少ない.
8. \**Exorista sorbillans* (Wiedemann) クワゴヤドリバエ  
 1♀, 12. viii. 2004; 4♂2♀, 18. ix. 2000, ex *Bombyx mandarina*, YA & MI.  
 分布: 北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬; 旧北区南部, 東洋区.  
 かつてはカイコの寄生者として著名であったヤドリバエ. 多くの鱗翅目幼虫に寄生する.
9. \**Exorista bisetosa* Mesnil カマキリヤドリバエ  
 1♂, 18. iv. 2002.  
 分布: 本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島; 中国, タイ.  
 オオカマキリ, チョウセンカマキリなどに寄生する.
10. *Exorista mimula* (Meigen) ナガホソハリバエ  
 1♂, 12. viii. 2003.
11. *Exorista* sp. (=E. sp. in Shima, 2000)  
 1♂, 14. v. 2001; 1♀, 6. vii. 2004, TN.
12. *Neophryxe psychidis* (Townsend) ミノムシヤドリバエ  
 1♀, 30. ix. 2003.
13. *Phorocera obscura* (Fallén)  
 4♂, 15. iv. 2003, MT; 1♀, 12. v. 2005.

#### Blondeliini

14. *Admontia* sp. (=A. sp. in Shima, 2000)  
 1♂, 8. v. 2003; 1♂, 2. vi. 2003; 3♀, 13. xi. 2003.

15. *Biomeigenia gynandromima* Mesnil  
1♀, 8. v. 2002; 1♀, 12. v. 2005; 1♀, 14. v. 1996, MO; 1♀, 14. v. 1998, TN; 1♀, 16. v. 2002.
16. *Compsilura concinnata* (Meiggen) ノコギリハリバエ  
1♀, 21. vii. 2005; 1♀, 29. vii. 2003; 1♀, 12. viii. 2003; 2♀, 24. ix. 2003.
17. *Drinomyia hokkaidensis* (Baranov) キアシハリバエ  
1♀, 24. x. 2005; 1♀, 13. xi. 2003.
18. *Lixophaga latigena* Shima  
1♂, 9. ix. 2004; 1♂, 12. ix. 2002; 4♀, 19. ix. 2000, TN; 3♂4♀, 25. ix. 2002; 1♀, 11. x. 2002; 1♀, 16. x. 2002; 29♀, 18. x. 2004; 1♀, 20. x. 2003, TN; 6♀, 24. x. 2001; 13♀, 24. x. 2005; 1♀, 8. xi. 2004; 21♀, 13. xi. 2003; 4♀, 14. xi. 2001.
19. *Medina separata* (Meigen)  
1♂, 18. iv. 2002.
20. \*\**Medina abdominalis* (Mesnil)  
1♂, 17. vi. 2004.  
分布：北海道、本州、九州。  
ハムシの寄生者。メス腹部腹面に微細な棘歯を列生する特徴的な種である。
21. \**Meigenia* sp.  
1♂, 11. x. 2002, TN.  
本種については既知種との同定がつかないため、なお検討中である。
22. *Trigonospila transvittata* (Pandellé) シロオビハリバエ  
1♀, 8. viii. 2000, TN; 1♂, 18. x. 2004.
23. *Vibrissina turrita* (Meigen)  
1♀, 16. v. 2002; 1♀, 19. vi.-12. vii. 1995, KK (MT); 1♂, 19. ix. 2000, TN; 1♀, 18. x. 2004.
24. \*\**Vibrissina debilitata* (Pandellé)  
1♀, 16. v. 2002.  
分布：北海道、本州、九州；ヨーロッパ。  
ハバチ類の寄生者で、♀はハバチ幼虫の体内に発生の完了した卵を産み込む。

## Ethillini

25. \*\**Mycteromyiella marginalis* Shima ナナフシヤドリバエ  
1♀, 14. v. 2001, TN.  
分布：本州、九州。  
ナナフシ類に選択的に寄生し、メスは発生の進んでいない卵をナナフシの体表に直接はりつける。本属は日本以外ではボルネオ、ニューギニアなどが知られているのみである。
26. \**Phorocerosoma vicarium* (Walker) キンポクハリバエ  
1♂1♀, 30. vi. 2003.  
分布：北海道、本州；中国、東南アジア。  
日本では最も普通に見られる大型のバッタ目の寄生者。前種と同じく、メスは寄主の体表に卵を貼付ける。
27. \*\**Paratryphera barbatula* (Rondani)  
1♀, 21. vii. 2005.  
分布：北海道、本州。  
日本ではまれな種で、本州における記録はこれまでない。

28. \*\**Paratryphera* sp.  
 $1\sigma^{\text{♂}}1\varphi$ , 25. ix. 2002; 1 $\varphi$ , 11. x. 2002, MT; 1 $\varphi$ , 18. x. 2004.  
 分布: 本州 (東京)  
 今回はじめて発見された未記載種。上記の標本以外には知られていない。
29. *Paratryphera minor* Shima  
 $1\varphi$ , 21. vii. 2005; 3 $\varphi$ , 16. ix. 2003, MT.
- Winthemiini
30. \**Winthemia angusta* Shima, Chao et Zhang  
 $2\sigma^{\text{♂}}$ , 25. viii. 2003.  
 分布: 本州, 九州; 中国.
- Erycyiini
31. *Aplomya confinis* (Fallén) サンセイハリバエ  
 $1\varphi$ , 9. ix. 2004; 2 $\sigma^{\text{♂}}$ , 16. x. 2002; 2 $\sigma^{\text{♂}}$ , 24. x. 2005.
32. \*\**Aplomya metallica* (Wiedemann)  
 $1\sigma^{\text{♂}}$ , 16. ix. 2005.  
 分布: 本州, 四国, 九州, 琉球; 東洋区, アフリカ.  
 热帯から亜热帯にかけて広く分布する, 鱗翅類の寄生者.
33. \*\**Carcelia (Calocarcelia) yakushimana* Shima  
 $1\varphi$ , 25. viii. 2003.  
 分布: 本州, 九州; 中国.  
 屋久島を原産地として記載された種で, 本州からはじめて記録される.
34. \*\**Carcelia (Carcelia)* sp.  
 $1\varphi$ , 25. viii. 2003.  
 分布: 本州, 九州.  
 本種はこれまで *C. bombylans* と混同されていたが (Shima, 1969 など), 別種であることが判明し, 近く発表される予定である.
35. \*\**Drino (Drino) argenteiceps* (Macquart)  
 $1\sigma^{\text{♂}}$ , 25. viii. 2003.  
 分布: 本州, 九州, 対馬; 東洋区.
36. *Drino (Drino) lota* (Meigen)  
 $1\varphi$ , 13. vii. 2005; 1 $\varphi$ , 1. viii. 2005
37. *Drino (Drino)* sp. 1 (= *D. sp. 1*, Shima, 2000)  
 $1\varphi$ , 24. ix. 2003.
38. *Drino (Drino)* sp. 2 (= *D. sp. 2*, Shima, 2000)  
 $1\sigma^{\text{♂}}$ , 16. v. 2002
39. *Drino (Palexorista) inconspicuoides* (Baranov)  
 $1\sigma^{\text{♂}}$ , 25. viii. 2003;  $1\sigma^{\text{♂}}$ , 16. ix. 2005;  $1\sigma^{\text{♂}}$ , 25. ix. 2002;  $1\varphi$ , 19. x. 2000, TN;  $2\varphi$ , 24. x. 2001;  $1\sigma^{\text{♂}}1\varphi$ , 13. xi. 2003;  $4\varphi$ , 14. xi. 2001;  $1\varphi$ , 8. xii. 2004.
40. \*\**Drino (Zygobothria) atropivora* Robineau-Desvoidy イモムシヤドリバエ  
 $1\sigma^{\text{♂}}$ , 24. ix. 2003.  
 分布: 北海道, 本州, 九州; 旧北区南部.

シモフリスズメ等に寄生する。

41. \*\**Drino (Zygobothria)* sp.

1♀, 25. ix. 2002.

分布：本州、九州。

前種に近縁の未記載種。

42. *Euvespivora decipiens* (Walker) (=*E.* sp. in Shima, 2000)

1♀, 12. viii. 2004.

分布：本州、九州；東洋区。

島(2000)で*E.* sp.とした種。その後の検討の結果、東洋熱帯に分布する本種と同一であるという結論に達した。

43. *Isosturmia japonica* (Mesnil)

1♂, 8. v. 2003; 1♀, 14. v. 2001; 3♂, 16. v. 2002; 2♀, 2. vi. 2003; 2♀, 4. vi. 2003; 1♂, 9. vi. 1998, TN; 1♂, 15. vii. 2003; 2♀, 29. vii. 2003; 2♀, 12. viii. 2003; 1♀, 25. viii. 2003; 1♀, 2. ix. 2003; 1♀, 24. ix. 2003; 1♀, 25. ix. 2002; 1♀, 30. ix. 2003, MT; 1♀, 14. x. 2003, MT; 1♀, 15. x. 2003; 2♀, 24. x. 2001; 1♀, 24. x. 2005; 2♀, 13. xi. 2003.

44. \*\**Nilea hortulana* (Meigen)

1♀, 8. xii. 2004.

分布：北海道、本州；旧北区。

45. *Senometopia excisa* (Fallén) キナコハリバエ

1♂, 14. v. 2001; 1♀, 17. vii. 2001, TN; 1♀, 25. ix. 2002.

46. \**Senometopia prima* (Baranov)

2♀, 17. v. 2004; 1♀, 12. viii. 2003; 1♀, 2. ix. 2003, MT; 2♀, 19. ix. 2000, TN; 3♀, 30. ix. 2003, MT.

分布：本州、九州、琉球；中国。

各種鱗翅類に寄生する直接産卵・卵胎生のヤドリバエ。

47. \**Senometopia* sp. 1

1♂, 13. xi. 2003.

島(2000)の*S.* sp.とは別種の未記載種。

48. *Senometopia* sp. 2 (=*S. polyvalens* in Shima, 2000)

4♂, 24. x. 2001.

分布：本州（東京）。

島(2000)は本種を*S. polyvalens*としたが、その後の検討の結果*polyvalens*とは異なる未記載種であることがわかった。本種は東京からしか知られていない。

49. \*\**Setalunula* sp.

1♀, 17. vii. 2001; 1♂, 24. x. 2005.

分布：本州、四国。

*Setalunula*属は、1990年に中国江西省産の新種をもとに設立された属で(Chao & Yang, 1990)，その後、広西省、雲南省などからも記録された(Chao, 1998)。今回採集された種は中国の種とは異なる未記載種の日本特産種と考えられ、他には愛媛県から得られているのみである。

50. \**Thecocarcelia sumatrana* (Townsend)

1♀, 13. vii. 2005.

分布：北海道、本州、九州；東洋区。

イチモンジセセリなどに寄生する熱帯・亜熱帯アジアに広く分布する種。

51. *Thelychonychia discalis* Mesnil

1♀, 15. x. 2003.

Goniini

52. *Argyrophylax apta* (Walker)  
1♂, 2. viii. 2004; 1♀, 24. ix. 2003; 1♂, 7. xii. 2000.
53. *Argyrophylax atricauda* Mesnil  
1♂, 13. ix. 2005, TN.
54. \**Blepharipa sericariae* (Rondani) カイコノウジバエ  
1♂, 14. v. 2001; 2♀, 14. v. 2001, TN.  
分布: 北海道, 本州, 九州.  
カイコの害虫として著名な種. メスはクワの葉など鱗翅類幼虫の食草に微小な卵を産みつけ, 餌とともに卵を飲み込ませることによって寄生を開始する. 皇居内の桑園も, その管理状況によっては本種の産卵の可能性がある.
55. *Blepharipa* sp. 1 (=B. sp. 1 in Shima, 2000)  
1♀, 7. v. 2004; 1♀, 2. vi. 2003; 1♂, 13. vi. 2005; 1♀, 24. ix. 2003, TN; 1♂, 8. xii. 2004.
56. *Blepharipa* sp. 2 (=B. sp. 2 in Shima, 2000)  
1♀, 18. iv. 2002; 2♀, 25. viii. 2003; 1♀, 19. ix. 2000, TN; 1♀, 25. ix. 2003; 1♀, 24. x. 2005.
57. *Blepharipa* sp. 3 (=B. sp. 3 in 2000)  
1♀, 12. v. 2005; 1♀, 13. vi. 2005; 1♀, 17. vi. 2004; 1♀, 9. vii. 2002; 1♀, 25. viii. 2003; 1♀, 9. ix. 2004; 3♀, 25. ix. 2002.
58. \**Blepharipa* sp. 4  
1♀, 24. ix. 2003, TN.  
鳶 (2000) の sp. 4 とは別種であるが, 種名は確定できない.
59. *Eumea linearicornis* (Zetterstedt)  
1♀, 8. v. 2003; 1♀, 14. v. 2001; 2♂1♀, 2. vi. 2003; 2♂2♀, 17. vi. 2004.
60. *Gonia chinensis* (Wiedemann) オオズクロスジハリバエ  
1♀, 17. v. 2004, TN. 1♀, 9. vii. 2002.
61. *Pales coxalis* Mesnil  
1♀, 8. v. 2003; 4♀, 9. vii. 2002; 1♀, 21. vii. 2005; 1♀, 25. ix. 2002.
62. *Pales pavida* (Meigen) カイコクロウジバエ  
2♀, 13. xi. 2003; 1♀, 8. v. 2003; 1♀, 16. iv. 2001, TN; 2♀, 12. v. 2005; 1♀, 14. v. 2001, TN; 1♀, 14. ix. 2005; 2♀, 16. ix. 2005; 1♀, 25. ix. 2002; 1♀, 18. x. 2004; 2♂1♀, 23. x. 2001; 1♀, 24. x. 2005; 1♀, 8. xi. 2004; 2♀, 13. xi. 2003; 1♀, 14. xi. 2001; 4♀, 7. xii. 2000.
63. *Pales* sp. (=P. sp. in Shima, 2000)  
1♀, 17. vii. 2001; 1♀, 19. ix. 2000, TN.
64. *Pexopsis pilosa* Mesnil (図 2)  
1♂, 16. iv. 2003; 1♀, 18. iv. 2002; 1♂3♀, 8. v. 2003; 1♀, 10. v. 1999; 2♀, 12. v. 2005; 1♀, 13. v. 2005; 18♀, 14. v. 2001; 3♀, 14. v. 2001, TN; 1♀, 9. vi. 1998, TN; 1♀, 13. vi. 2005, TN.
65. \*\**Pexopsis yakushimana* Shima  
1♂, 17. vii. 2001; 1♀, 2. viii. 2004.  
分布: 本州, 九州.  
屋久島を原産地として記載された種. 非常にまれである. 寄主はまだ知られていないが, コガネムシ類の成虫であろうと考えられる.

66. \*\**Phryno* sp.

1♀, 18. iv. 2001, TN.

*Phryno* 属は日本から 2 種が知られているが、実際には少なくとも 5 種ほどが生息すると考えられ、現在検討中である。本種は既知のいずれの種にも該当しない。

67. \**Pseudogonia rufifrons* (Wiedemann)

1♀, 21. vii. 2005; 5♀, 19. ix. 2000, TN; 1♀, 16. x. 2002; 3♀, 18. x. 2004; 1♀, 14. xi. 2001.

分布：本州、九州；東洋区。

ヤガ類の寄生者。熱帯、亜熱帯アジアに広く分布する。

68. *Sturmia bella* (Meigen) マダラヤドリバエ

2♀, 8. v. 2003; 1♀, 14. v. 2001; 1♀, 4. vi. 2003; 1♀, 26. viii. 2004; 1♂, 14. ix. 2005; 1♀, 16. ix. 2005; 1♀, 19. ix. 2000, TN; 1♀, 24. ix. 2003; 1♀, 11. x. 2002; 1♀, 24. x. 2001; 1♀, 24. x. 2005.

69. *Takanomyia scutellata* Mesnil

1♂1♀, 12. v. 2005; 1♀, 24. x. 2005; 1♀, 16. xii. 2003.

70. \**Zenillia dolosa* (Meigen)

1♀, 24. ix. 2003, TN.

71. *Zenillia phrynoides* (Baranov)

1♀, 11. xi. 2002, TN; 1♀, 12. xi. 2003.

Tachininae

Tachinini

72. *Tachina (Servillia) amurensis* Zimin ヨコジマオオハリバエ (図 3)

1♀, 25. viii. 2003; 4♀, 24. ix. 2003.

Linnaemyini

73. *Linnaemya atriventris* (Malloch)

1♀, 24. ix. 2003.

74. *Linnaemya picta* (Meigen) チビヒゲハリバエ

1♂3♀, 12. v. 2005; 1♀, 17. v. 2004; 1♀, 24. x. 2001; 1♀, 8. xi. 2004; 1♀, 8. xii. 2004.

75. *Linnaemya tessellans* Robineau-Desvoidy セスジチビヒゲハリバエ

1♂, 8. v. 2003; 1♀, 16. v. 2002; 1♀, 16. x. 2002; 1♀, 20. x. 2003; 1♀, 23. x. 2002; 1♀, 24. x. 2005.

Ernestiini

76. *Fausta inusta* (Mesnil) (=*Panzeria laevigata* (Meigen) in Shima, 2000)

1♀, 18. iv. 2002.

77. *Fausta* sp. (=*Panzeria* sp. in Shima, 2000)

1♀, 18. iv. 2000.

Siphonini

78. *Ceromya dorsigera* Herting

1♀, 25. ix. 2002.

79. *Peribaea tibialis* (Robineau-Desvoidy)

1♀, 25. ix. 2002; 1♀, 24. x. 2001; 1♀, 24. x. 2005; 3♀, 8. xi. 2004; 1♀, 14. xi. 2001.

80. *Proceromyia macronychia* (Mesnil)

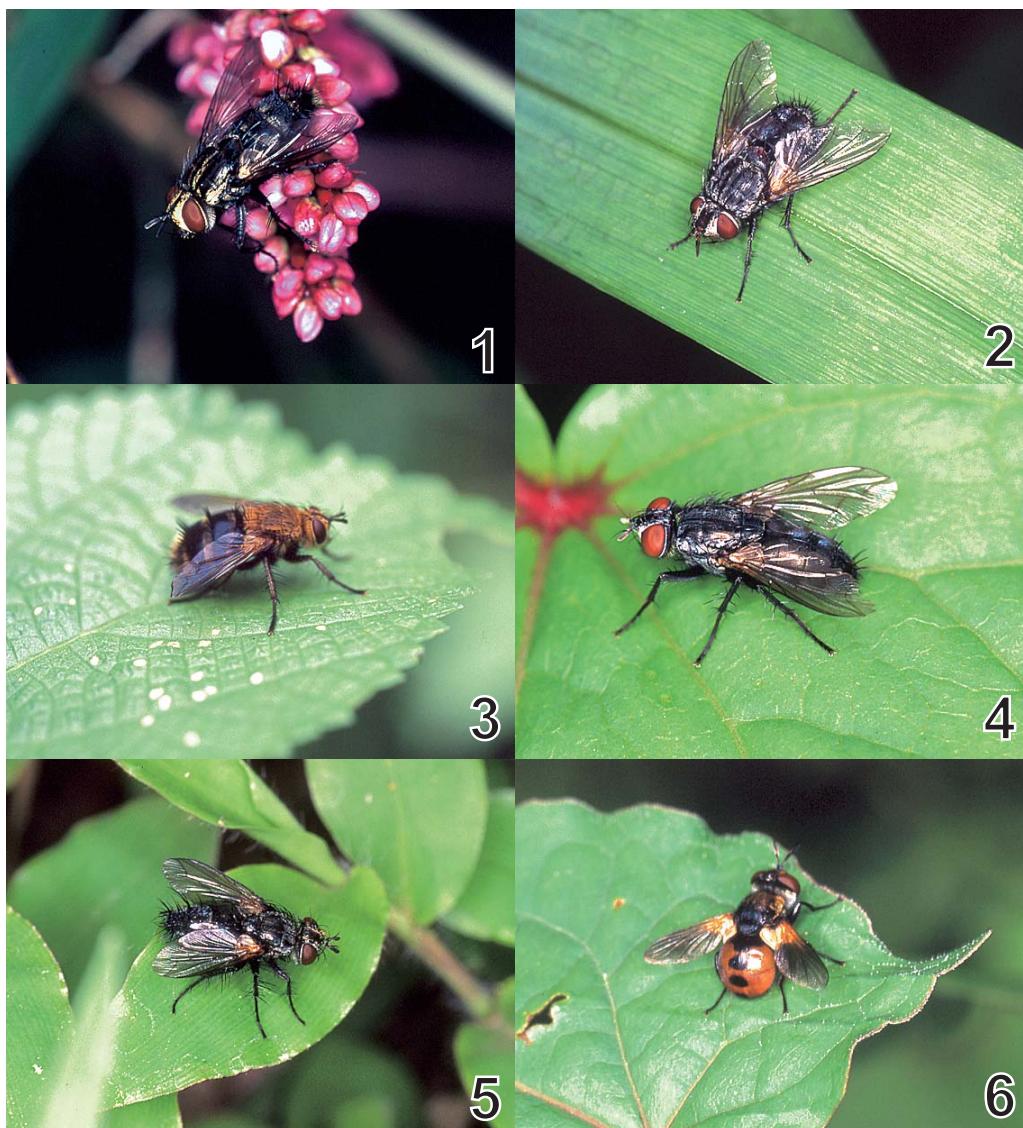


図 1-6. 皇居のヤドリバエ。1. *Exorista japonica* (Townsend) ブランコヤドリバエ。2. *Pexpsis pilosa* Mesnil. 3. *Tachina (Servillia) amurensis* Zimin ヨコジマオオハリバエ。4. *Thelaira nigripes* (Fabricius) アシナガハリバエ。5. *Athricia curvinervis* (Zetterstedt). 6. *Gymnosoma rotundatum* (Linnaeus) マルボシヒラタヤドリバエ。  
(篠永 哲・撮影)

1♀, 24. iii. 2003.

81. *Siphona hokkaidensis* Mesnil

1♀, 2. vi. 2003; 3♀, 17. vii. 2001; 1♀, 17. vii. 2001, TN; 2♂3♀, 12. viii. 2003; 1♀, 19. ix. 2000, TN;  
6♀, 24. x. 2001; 1♂1♀, 8. xi. 2004; 1♂1♀, 14. xi. 2001; 2♀, 8. xii. 2004.

## Minthoini

82. *Dolichopodomintho takanoi* Mesnil

1♀, 13. vi. 2005; 1♂, 9. ix. 2004; 1♀, 12. ix. 2002; 5♀, 25. ix. 2002; 1♀, 25. ix. 2002, TN.

83. *Sumpigaster sumatrensis* (Townsend)

1♂, 25. viii. 2004; 1♀, 26. viii. 2004; 1♀, 9. ix. 2004; 2♀, 24. ix. 2003; 1♀, 16. x. 2002; 5♀, 18. x. 2004; 2♂, 23. x. 2002, TN; 1♂2♀, 24. x. 2005.

## Dexiinae

## Voriini

84. *Athricia curvinervis* (Zetterstedt) (図 5)

111 exs.: 18. iv. 2002; 18. iv. 2002, TN; 19. iv. 2004; 30. iv. 2004, TN; 8. v. 2003; 12. v. 2005; 14. v. 2001; 16. v. 2002; 13. xi. 2003.

85. *Campylocheta bisetosa* Shima

1♂, 14. v. 2002.

86. *Campylocheta flaviceps* Shima

1♀, 16. iv. 2001, TN.

87. *Phyllomya aristalis* (Mesnil et Shima)

1♂, 12. v. 2005; 1♀, 16. v. 2002.

88. *Phyllomya nobilis* Mesnil

1♂2♀, 12. v. 2005; 1♀, 14. v. 2001, TN; 1♂1♀, 16. v. 2002; 1♀, 15. v. 2004.

89. *Phyllomya* sp. (=*P. humilis* in Shima, 2000)

3♀, 18. iv. 2002; 3♂1♀, 8. v. 2003; 3♀, 12. v. 2005; 5♀, 16. v. 2002; 2♀, 17. v. 2005.

分布: 本州。

鳴(2000)では本種を本州西南部低地や九州に分布する *P. humilis* としたが、その後の検討の結果、それとは明瞭な別種で未記載種であることが判明した。本種はこれまでのところ、皇居以外では得られていない。

90. *Thelaira nigripes* (Fabricius) アシナガハリバエ (図 4)

1♂1♀, 12. v. 2005; 5♂3♀, 13. v. 2002; 3♂, 14. v. 2001; 7♂6♀, 16. v. 2002; 1♂, 17. v. 2004.

91. *Voria ruralis* (Fallén) ウスグロケブトハリバエ

1♀, 13. xi. 2003.

## Phasiinae

## Cylindromyiini

92. \*\**Cylindromya petiolata* (Townsend)

1♂, 17. vii. 2001; 1♂, 18. vii. 2002; 2♂1♀, 25. viii. 2003; 1♂, 24. ix. 2003, TN; 1♀, 19. x. 2000, TN.  
分布: 本州、九州; 台湾。

台湾から記載され、後に九州からも報告されたが(鳴, 1981), 本州からはこれまで知られていなかった。

## Phasiini

93. *Gymnosoma rotundatum* (Linnaeus) マルボシヒラタヤドリバエ (図 6)

1♂1♀, 18. x. 2004; 1♂2♀, 24. x. 2001; 1♀, 8. xi. 2004.

94. *Pentatomophaga latifascia* Villeneuve

1♂, 16. v. 2002; 1♀, 17. vii. 2001; 1♂, 25. viii. 2003; 1♂, 24. ix. 2003; 1♀, 24. ix. 2003, TN; 1♀, 18. x. 2004.

## Leucostomatini

95. *Calyptromyia barbatula* Villeneuve

1♂, 19. ix. 2000.

## 考 察

皇居のヤドリバエ科については、これまでの調査によって 119 種が明らかになった。前回記録された種（鳶, 2000）のうち今回記録されなかったのは 24 種である。これらの大部分は一般に個体数が少なく、ヤドリバエのようにおもに目にたよって調査される虫では、採集される機会も少なくなると考えられ、とくにこの期間に減少したということを意味するものではないであろう。むしろ、前回から新たに 31 もの種が追加されたことが重要である。東京都区内のヤドリバエ科は、三井（1987）や鳶（2005）をあわせて 128 種にのぼる。鳶（2005）は、東京都区内のヤドリバエをほぼ 110 種と予想していたが、皇居のみでその数をはるかに上回ることになる。またこの数はイギリス全土のヤドリバエ科の種数のほぼ半数にあたり、皇居のヤドリバエ相の豊かさと、調査を重ねればさらにいくつかの追加種が見込まれることを示している。ヤドリバエの多くが一定の幅を持った各種昆虫類のスペシャリスト寄生者であることを考えると、ヤドリバエの寄主となるそれぞれの昆虫群も、それなりの多様性に富むことを示していると言える。

皇居のヤドリバエ相の中でとくに注目すべきは、日本の他の地域からは全く知られていない未記載種 *Admontia* sp., *Senometopia* sp., *Paratryphera* sp., *Phyllomya* sp. などが得られていることである。また、日本の他の地域では希少な *Proceromyia pubiocolata* や *Phyllomya aristalis*, *Pexopsis yakushimana*, *Cylindromyia petiolata* などが、この比較的狭い東京の中心部に産することも特筆すべきである。このことは、これらの種がかつては関東平野部に広く分布していたことを示すものであろう。

今回の報告の中で他に注目されるのは、著者が知る限りこれまで日本からは四国愛媛で 1 個体しか得られていない *Setalunula* 属の未記載種が発見されたことである。この属は中国南部からのみ知られており、それに近縁な別種が日本に発見されたことは、その寄主昆虫の探索とともに生物地理学上の考察もあわせて非常に興味がもたれるところである。また、前述の *Paratryphera* 属の未記載種も、これまで旧北区全体でも 5 種が知られるだけであった本属に、さらに新しい種が東京の中心部から発見されたということで、ヤドリバエの研究にまだ多くが残されていることを如実に示している。

## 謝 辞

今回の報告においても、篠永 哲博士（東京医科歯科大学）には大部分の標本を採集され、貴重な写真を拝借し、様々な助言をいただきなど大変なお世話をいただいた。また多くの方がたに資料の収集でご助力をいただいた。厚くお礼申し上げる。

## Summary

Ninety-five tachinid species are recorded from the Imperial Palace, Tokyo, 31 of which are newly added to the previous record (Shima, 2000) and marked with an asterisk “\*”. Seventeen species are newly known from Central Tokyo and they are marked with double asterisks “\*\*”. As a result of the researches in this project, 119 tachinid species are recorded from the Imperial palace, Tokyo. It is interesting that an unidentified species of *Setalunula* was found there. It is most possible that this is the second species of this

genus. *Senometopia polyvalens* was erroneously identified by Shima (2000). It is in reality an undescribed species of *Senometopia*. *Phyllomya humilis* reported by Shima (l.c.) should also be an undescribed species of the genus (*P.* sp.). *Fausta inusta* (Mesnil) was misidentified as *Ernestia* sp. *Euvespivora* sp. in Shima (l.c.) was confirmed as *E. decipiens* (Walker).

#### 引　用　文　献

- Chao, C.-m. & Yang, L., 1990. Notes on a new genus and species of Tachinidae from China. *Acta zootaxonomica sinica*, **15**: 77–82. (In Chinese with English summary.)
- Chao, C.-m., 1998. Tachinidae. In Xue, W. & Chao, C.-m. (eds.), *Flies of China*, **2**: 1661–2206.
- Herting, B., 1983. Catalogue of Palearctic Tachinidae. *Stutt. Beitr. Naturk.*, A (369): 1–228.
- Mesnil, L. P. & Pschorr-Walcher, H., 1968. A preliminary list of Tachinidae (Diptera) from Japan. *Mushi*, **41**: 149–174.
- Shima, H. 1968. Notes on the Japanese *Carcelia* and *Calocarcelia* (Diptera: Tachinidae). *Kontyû*, **37**: 237–246.
- 嶌　洪. 1981. Yellow pan trap (water trap) で得られたやどりばえ 2 種. *Pulex*, (66): 296.
- Shima, H. 1999. Host-parasite catalog of Japanese Tachinidae (Diptera). *Makunagi/Acta Dipterologica*, (Suppl. 1): 1–108.
- 嶌　洪. 2000. 皇居のヤドリバエ科. 国立科博専報, (36): 481–495.
- [Shima, H. 2000. Tachinidae (Insecta, Diptera) of the Imperial Palace, Tokyo. *Mem. natn. Sci. Mus.*, Tokyo, (36): 481–495.]
- 嶌　洪. 2005. 赤坂御用地および常盤松御用地のヤドリバエ科（双翅目）. 国立科博専報, (39): 387–395.